

清らかな心を持ち、誘惑にも動じない強い精神を育てていきます。僕は、今回の体験とおして、礼儀・マナー・他の人への敬意・おもてなしの心など、日本人特有の文化の素晴らしさをたくさん学びました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。また機会があったらやってみたいです。その時には、正座をしたままです。練習をしたまです。



◆AED研修及び心肺蘇生法講習会

中三 男子

講習会で学んだことが三つあります。一つ目は、周囲の安全確認です。人を助ける時に周りが危ない状況だったら助けようとする自分も危なくなるのでしっかり周りを確認しようと思いました。二つ目は、胸骨圧迫です。胸骨圧迫

は、一分間に百から百二十回で、大人は胸骨が五センチくらい沈むまで押すことが分かりました。乳児は、胸の厚さの三分の一が沈む程度に押します。三つ目は、AEDの使い方についてです。AEDの使い方は、AEDを使ったことが無い人でも使えるように、使い方の順番やパッドを貼る場所が書かれていたり、AEDの機械がどうすればよいかの判断をしてくれたりしたのでとても分かりやすかったです。今回の体験したことをしっかり覚えておいて、もし人が倒れている場面に出くわしたら、学んだことをしっかり活かしていこうと思います。



◆第一回進路講演会 フロになるということ

今谷印刷株式会社

飛谷 様



中三 男子

僕は、今回の進路講演会のお話を聞いて、仕事に関しても挑戦してみることが大切だと思いました。今、僕は中学三

年生なので、高校進学やその先の将来就きたい仕事を考えています。就きたい職業は決まっているのですが、この高校や大学に行きたいかは決まっています。今日のお話の中で、「高校は、いろんなことがこの先でできるように選んだ。」と言われたので、「何かを専門的に学ばない」という選択肢もあるのかと、僕の考えの幅が広がりました。仕事をするというのは、社会人としての責任を取らないといけないし、自分で得たお金で生きていかないとけません。これからの生活で、今回聞いたことを活かしていきます。貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。将来の夢がかなうように頑張ります。



◆竹細工づくり

孟宗竹で器と箸を作り、そうめんをお昼に食べました。

中一 男子

竹細工を体験しました。初めは竹の色んな切り方を考えて、良いなと思う切り方ができずごく楽しかったです。「色々やってみる」と言うことは、大事で

す。「出来ないからやらない」ではなく、やってみて失敗したら次に失敗をしないようにするなど、「やってみる」ということは、今後の生活でもやってみようと思います。竹を切る時に、「手を切るからもう少し手を遠ざけて」と、何回も言われました。だから、自分のやり方ではなく、正しいやり方を身につけていこうと思います。竹の箸を三十分で作った時に、もっとやすりで箸らしくしたいと思いました。時間が無くて後悔をしてしまいました。箸を仕上げる時間配分をしておけば後悔をしなかった。僕の課題でもある「時間配分ができない」を意識して生活し、公開のない生活をします。お昼に、自分が作った箸と器でそうめんを食べました。とても美味しかったです。



◆第六十七回中国少年野球大会

七月二十七日(水)～二十九日(金)

まで、岡山県の岡山ドーム球場で大会が開催されました。

(大会結果)

対岡山県立成徳学校 三十七

対島根県立若竹学園 二十二

対山口県立育成学校 五十七

(順位)

優勝 岡山県、準優勝 広島県

三位 島根県

山口県は、オープン参加



中三 男子

僕は、野球部での活動の中にやりたくないことがあったりして、「めんどくさいな」という態度が出てしまっていることもありました。具体的には、移動するときには小走りだったり、「声を出せ」「しっかり走れ」などの注意が、沢山あったりしたことです。僕は、遊びで野球をしたことしかなかったので、毎日の準備運動のアップやダウンなども、「めんどくさいな」と思いながらやっていました。でも、段々と練習が野球という感じになつてきて、やりたくないことも少しはあったけど、やっていて楽しいという練習が増えていきました。とはいえ、声や練習への取り組み方での注意は、まだありました。大会が近づくにつれて、練習試合などもしました。練習試合は、チームがまとまるといって練習なので、応援や声かけをしてチームを盛り上げることもしま

した。練習は、約六ヶ月間でした。

大会では、三試合しました。二試合は負けてしまいましたが、最後の一試合は勝ちました。ドーム球場に入ったことが初めてで、「すごいなあ」と思ったり、全国大会出場のかかった試合をするのでとても緊張しました。緊張などで、プレーが上手いかなかったりすることがありました。

試合で負けると、「悔しい」という気持ちに自然となりました。それで僕は、この試合で負けてしまった原因となるものを考えました。それは、気持ちによるプレーの変化だと思いました。最初は、自分達のチームが点を取っていたけど、追いつかれると、焦りなどがうまれて緊張してしまい、プレーに影響したからと考えました。だから、このことを次の試合では意識して取り組みました。また、皆で声を出してチームを盛り上げて、気持ちを高めました。少し点を取られて負けた試合と同じような感じになりましたが、僕だけでも気持ちによつて変化しないようにしようと思ってバッターボックスに立ちました。すると、練習試合や練習でもあまりなかった当たりをするのができました。チーム全体も良いプレーが出たりして、どんどん点が入るといってチャンスを作ることができました。大会の結果は、準優勝でし

た。メダル、賞状、盾をもらった時には、「このチームでここまで行けたんだ」と思い、チームプレーや今までの練習が良かったんだと思いました。

部活をとおして得たものは、最初に嫌だったことでも我慢して続け、忍耐力がついたことです。今後の生活や退園後、例えば、学校やバイトでは楽しいことだけではないと思います。その中で、与えられた仕事などをきちんとこなすことが大切だと思うので、この経験を活かして頑張っていきます。



◆読書感想文

中三 男子

* 一番書きたかったこと

「見かけは簡単そうなのに、三百年間どんな数学者も解けなかった問題ということ」

* 本の題名 「フェルマーの最終定理」

* 著者 「サイモン・シン」

* 本を読んだきっかけ

「僕の一番好きで得意な教科は数学です。全国の同級生と、どれだけ数学が好きかを競っても、勝てる自信があります。そんな僕が、ある一つの問題に出会いました。【 $x^n + y^n = z^n$ 】この方程式は、【 n が2より大きい場合には、整数解を持たない。このことを証明せよ。】というものです。一見簡単そうですが、三百年間、誰も解けなかった問題だったのです。」

* 感動したこと

「三百年とは、とても長く長い期間です。例でいうと、本能寺の変から日清戦争までくらいです。すごく、歴史が動いています。現在と技術に違いがあるとしても、三百年はすごいことです。この超難問を証明して見せたのは、「アン・ドリュエールズ」というイギリス人です。千九百九十三年の六月二十三日にケンブリッジにあるニュートン研究所で講演を行い、証明を三十分以上かけて書いて謎が解かれました。しかも、この解き方というのは、【帰納法という公式が n に対して成り立てば、 $n+1$ についても成り立たないといけない】というもので、つまり、一つドミノが倒れば全て倒れるという感じのものです。よくは分からないですが、とても難しく難しい問題の解き方は、とても難しく難しいということです。」

＊読書によって変わった考え方・生活

「僕は、この本を読んでみて、なぜこんなに熱中して考えられるのだろうかと思いました。僕の場合は、分からない問題があっても、悩む時間はせいぜい二日間です。三日目は、もう無理です。でも、それでも粘り強く考えるという力を身につけたいと思いました。」



◆消費者教育講座

「若者に身近な消費者トラブルへの対処方法」

広島弁護士会の先生から、消費者トラブルに対応するための方法を学びました。

中三 男子

「若者に身近な消費者トラブルへの対処方法」を聞いて、「この詐欺の手口なら僕も引かかってしまいそうだな」と思うものが何個もありました。僕は、まだこういう詐欺に引かかったことはありません。今日の話を聞いて、「自分にとって有利な話しは、詐欺である可能性が高い」と言われ、もしも引かかってしまった時には、「周りに相談のできる人を作っておくべきだ」と思います。今日の講演では、僕が大人になった時の生

活を守るためにも、大切なことをたくさん学んだので、これからの生活に活かしていこうと思います。



◆ふれあい運動会

中三 男子



今日は、ふれあい運動会がありました。僕は、この日のために沢山の練習をしてきました。僕は、練習で意識していたことが二つあります。一つ目は、返事の声を大きくすることです。運動会の練習の初日は、全く声が出ませんでした。僕がすっかり声を出すことを意識したのは、運動会を指導されていた先生の話しがきっかけです。先生が話した内容は、「運動会は一人の力だけではなく、皆の力によって運動会が成功します。」と、いうことです。僕一人の力ではなく、皆の力が合わさったからこそ、今回の運動会を成功させることができたのだと思います。二つ目は、自分の役割を果たすことです。僕には、実行委員として沢山の仕事がありました。僕が特に頑張ったのは、宣誓の言葉です。練習の時は、言葉がうまくついたり、次の言葉を忘れたりしてしまうことがありまし

た。そのことをきっかけに、本番の時はしっかり言えるように、何度も練習をしました。自分が正しく言えているかの確認を寮の先生にお願いして聞いてもらうこともありました。運動会の本番では、緊張で忘れかけることもあったけど、何とか少し詰まりながらも思い出し、自分の言いたかった言葉を伝えることができました。練習の成果が出たので良かったです。今回の運動会では、大縄も応援合戦も優勝することができました。大縄では、練習でなかなか皆のタイミングが合わなかったのですが、「優勝は難しいな」と思っていたけど、本番では、皆がしっかりやる気を出して、心をつにすることができたので、百四十七回も跳ぶことができて、最高得点でした。応援合戦では、「幸あれ!」と「サン・サン・ダンス」とエール交換をしました。これらを決めるのには、けっこう時間がかかりました。これに決めた理由は、見てくれる人に「楽しい」「嬉しい」と「幸せ」を届けるためです。本番では笑顔があまり作れなかったけど、少しは笑顔になれたので良かったです。練習では、見本を見ずに踊ることに不安があったけど、何事も自信をもってできて良かったです。僕は、運動会で実行委員をやることでできて良かったです。去年よりも楽しかったです。文化活動発表会では、実行委

員になった人を僕が支えてあげようと思います。実行委員は大変だったけど、とても楽しめたので良かったです。この経験を活かして、皆の見本になれるように生活をしっかり正そうと思います。



《ホームページ》

広島県のホームページの中に、「県立広島学園」のページがあります。支援者の方との交流や学園の行事の様子などを掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/sis/hirosimagakuen/>)